

がん遺伝子パネル検査に必要な病理組織検体チェックシート

当院で「がん遺伝子パネル検査」を行うためには、貴院での病理診断書と病理組織標本が必要となります。下記の病理診断書のコピーと病理組織標本作製における注意点を参考に、標本を準備し送付いただくようよろしくお願いいたします。

1. 病理診断（報告）書のコピー

2. 切り出し図のコピー

3. 診断に用いた病理組織標本（HE 標本，特殊染色，免疫染色）

* 後日返却いたします。

4. 対象のブロックの未染スライドガラス 5 μ m 25 枚

* がん遺伝子パネル検査に用いる適切な組織検体

- 10%中性緩衝ホルマリン固定された FFPE 標本
- 採取後3年以内かつ一番最近に採取した検体
- 組織の大きさは4×4mm であること
- 腫瘍細胞比率は、20%以上であること
- 酸脱灰をしていない検体（EDTA 脱灰は可）
- なるべく壊死・変性の少ない切片を選んでください

* 病理組織標本（未染スライドガラス）作製時のご注意

- 薄切の際には、手袋・マスクを着用し、マイクロトームの替刃を交換し、他の検体とコンタミネーションがないようご注意ください。
- 薄切水槽の水は新しい水に交換して下さい。
- スライドガラスには、病理番号のみ記載ください（個人名の記載は不可）

病理検体、データの準備に関するお問い合わせは以下にお願いいたします。

病院代表 TEL : 0463-93-1121（病理診断センター内線:6561）平日 9:00-16:00